

第16回コスモスまつり開催



10月22日(日)、第16回コスモスまつりを宇仁小学校グラウンドで開催しました。コロナ禍の発生にともない、三密を避け飲食をともなうイベントを控えるという方針のもと、小規模なコスモスまつりを3年間実施してきました。今年、新型コロナウイルスの感染症法の分類も第5類に変更され、また、国内におけるいろいろな行事もコロナ禍前の状態に戻ってきており、協議会としてもイベントを少しずつ元のあるべき姿に戻して開催しようということになりました。

今回のコスモスまつりは、コスモス街道散策ウォーキング、宇仁っ子ふるさとガイド隊による歴史ガイド、はつらつ部会の三世代ふれあい事業としてのホールインワンゲームなどのイベントに加え、ふれあい喫茶や宇仁の朝市が出店、また、特別企画の目玉イベントとして兵庫県警察音楽隊による演奏およびパレードもあり、久しぶりににぎやかなコスモスまつりとなりました。

詳細な内容については、次号に掲載する予定です。

(情報部会)

畦畔省力化実証実験に参加してセンチピードグラスを育てています

畦の草刈り、年に何回されていますか？ 農作業の負担になっていませんか？ 1月の多面的交付金の研修会で、

- a) 草丈が10~25cmしか伸びない
- b) 草刈りが年1回で済む
- c) 耐寒性が強い
- d) 雑草を抑制できる
- e) カメムシの繁殖を抑制できる

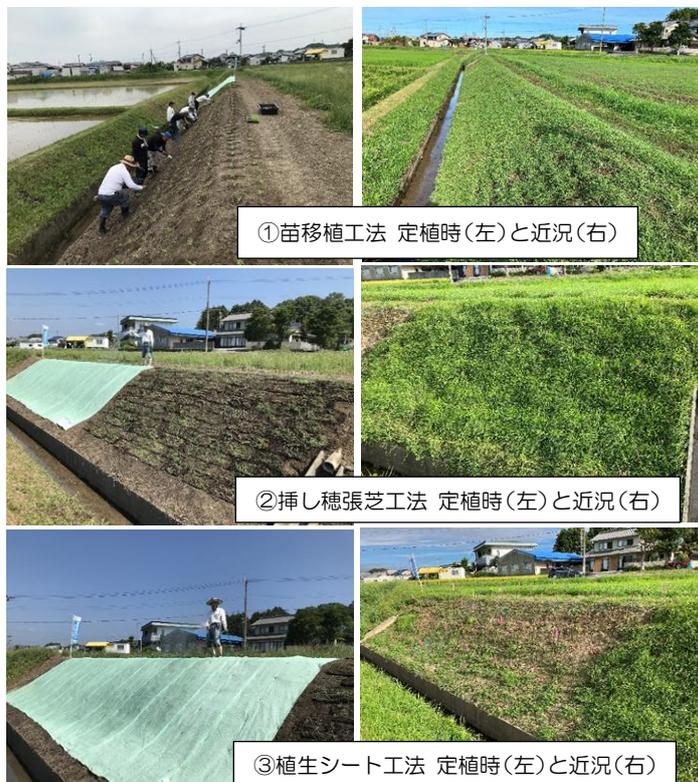
こんな特性を持つ芝草“センチピードグラス”の紹介と各活動組織で直営施工・管理を行う補助金対象の畦畔省力化実証実験への参加について5団体の公募を行う旨アナウンスがありました。

情報を持ち帰り役員会で図ってみると、排水路に面する町所有田の畦で実験してみようということになり、早速申し込みしましたが、関心のある団体が多く、問い合わせが殺到し、加古川流域エリアで我が町も含め19団体が参加することになりました。また5つある施工方法のうち当選したのは①苗移植、②挿し穂自家製張芝、③植生シートの3つの工法でした。

5月初旬から準備を始め、散水作業を省力化できる梅雨前の6月16・17日に定植し4か月がたちました。

①と②の工法は予想以上に育ってきております。③の工法は設置後想定より早くシートが雑草で持ち上がり、種の着床が悪く今のままでは今年中に施工箇所全面を覆いつくすのは無理があると判断し苗と張芝を補植しました。

本当に紹介通りの特性があるのか？結果が判明するのは少し先になると思いますが、楽しみにしています。近くを通られましたら是非覗いてみてください。(近況の写真は9月中旬時点のものです) (青野町区長 菅田晃三)



①苗移植工法 定植時(左)と近況(右)

②挿し穂張芝工法 定植時(左)と近況(右)

③植生シート工法 定植時(左)と近況(右)

免許証返納で「宇仁ふれあいバス」初乗車

平成20年2月、宇仁小学校建設期成同盟から立ち上げられた「宇仁郷まちづくり協議会」も結成から15年、歴代役員の皆さんや地域のご協力で、様々な事業が進められています。中でも昨今、可愛い「うにバス」の走る姿をみて、免許証返納近しという寂しい思いもありましたが、一方是非乗ってみたいとの期待感が高まっていました。

さて去る8月8日、88歳米寿の誕生日に免許証を警察に返納し、タクシー券、ねっぴー号無料券をいただきました。遂に試乗する時がやって来ました。最小限、加西病院への通院や年金引出しでお世話になれたらとの思いです。

初試乗は9月9日でした。時間表を見、メモをして、いざ公会堂前停留所へ。国正線Aコープ行きに乗り、Aコープ滝野で買い物をし、Uターン。田谷では降車せずに、北条中継点の中富口まで。ねっぴー号に乗り換えて加西病院へ。病院から引き返して田谷まで無事帰って来ました。「うにバス」の道中、奥山寺仁王門前、油谷の奥まで道中行脚、思わぬ楽しいひと時を過ごしました。

2回目は、10月3日、JAみのりに寄り、Aコープ滝野でゆっくり買い物をして帰ってきました。車中、ぼかぼ温泉や滝野図書館の停留所を経由しながら、免許証返納で温泉半額になったこと、図書館でゆっくり読書もいいなと夢が膨らみます。優しい運転手さんと楽しい車中会話、停留所ごとの気配り、目配りに感銘しました。

協議会の皆さん、ご苦労様です。

- ひとり居の 背伸びなぞして 宇仁のバス
- うにバスで ぼかぼ、図書館、Aコープ
- カラフルな うにバスに乗り 寺詣で



(田谷町 岡本一成)

宇仁小学校オープンスクール

10月12日木曜日、3時限目の全校生のリレー、1・2年生バトンを握りしめてよーいドン！ コーナーを上手に回ってみんな元気いっぱいに走れました。3・4年生はトラックを走ります。よーいドン、あれ？ やり直し、先生よく見えています。再度よーいドン、赤白優劣つけがたし、さすが中学年走り方も決まっています。5・6年生は4人ずつ走ります。走る前にチームで作戦会議をしています。さすが高学年、速い速い!! チームワークが発揮できていました。4時限目1年生の教室を覗くと、話に耳を傾けて聞いています。1学期より成長していて驚きました。

給食の時間、3時限目に一生懸命に走ったからお腹すいたー！ 当番さんが重いおかず、ご飯、牛乳を運んでいます。3・4年生はホールで配膳します。手慣れたものです。量の加減をしています。でも本当は足りなくならないかと、ヒヤヒヤしているそうです。一人一人でお盆にのせて持って行きます。“あーそんなに一杯入れるとこぼしちゃうよ” 見ていてこちらがドキドキ！ 誰もが偏食もせず、残さずにきれいに食べているそうです。みんな揃って“**イタダキマース！！**” (オープンスクール参加者)



宇仁郷のあゆみ 第二章 宇仁郷まちづくり協議会の群像達②

宇仁郷まちづくり協議会

10. 小学校を5校にする統廃合案が突如浮上(その3)

阪神淡路大震災後、小中学校施設の耐震化、老朽校舎の建て替えに関心が高まってきました。

(1)平成20年3月10日、中川市長と加西市議会に小川初男加西市連合PTA会長から11小学校・4中学校PTA会長連名の請願書が出され、議会において3月24日採択されました。

(2)平成22年8月19日、多加野地区正副代表区長とPTA会長の検討会では、①平成16年に宇仁小建設を採択、平成20年に日吉小を残すことを採択 ②宇仁小は耐震工事より新築のほうが得策 ③宇仁小には建設用地が確保されていて建設すべき ④「地域の核」である小学校がなくなれば地域は崩壊する ⑤単学級は良い点が多い ⑥統合の可否は校区の意見を最重視する、という意見が集約されました。

(3)平成22年11月11日、岡田好博宇仁小PTA会長よりPTA各位に「学校再配置計画に対する意見書の提出」について賛否を問いました。提案された「宇仁小は老朽化している上に耐震において不安があり、早期に耐震化を図り、子どもたちの安全確保を優先することが必要、そして、その対応策として宇仁小学校の建設を促進する」が賛成多数で承認されました。

